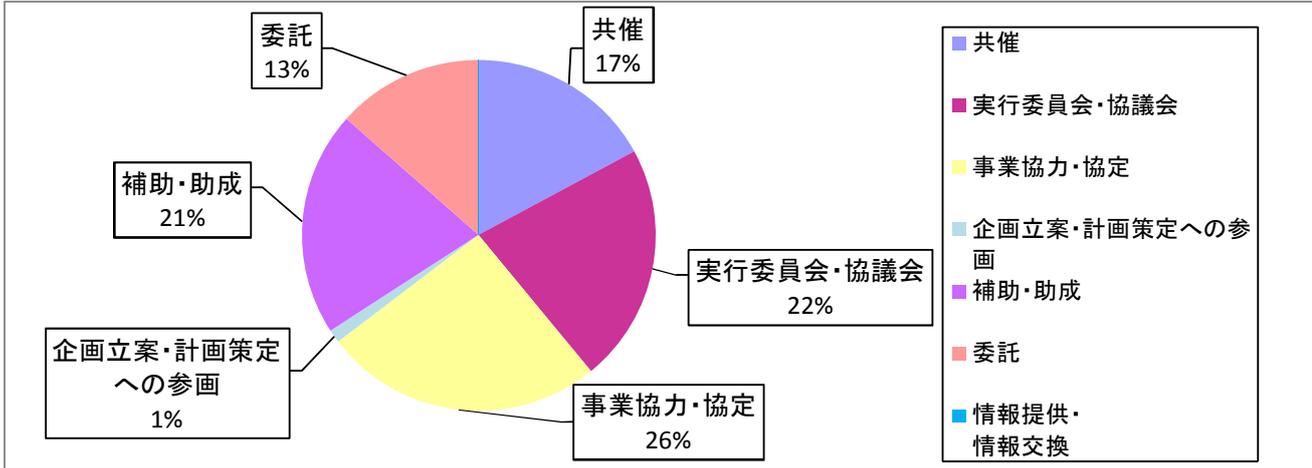


沼田市の市民協働事業（平成25年度）

1 協働事業の状況

平成25年度 協働事業の手法別の状況です。

区分	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定への参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
平成25年度	14	18	21	1	17	11	0	82



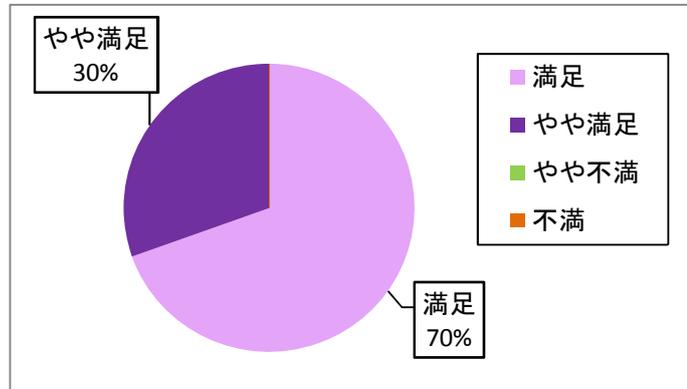
2 協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。

その評価結果（満足度）については、次のとおりでした。

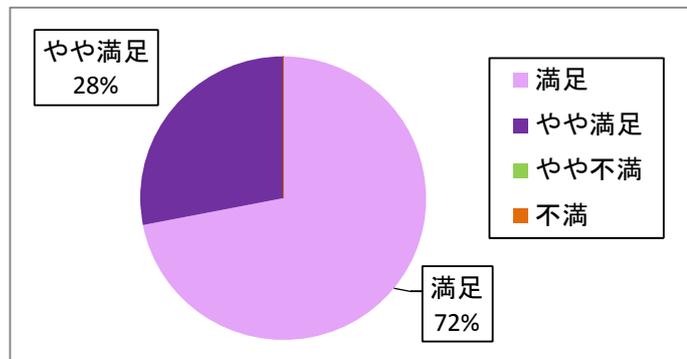
○市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	57	70%
やや満足	25	30%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	82	100%



○協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	59	72%
やや満足	23	28%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	82	100%



3 平成25年度の事業より紹介

平成25年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
10	生活課	男女共同参画推進事業 (セミナー開催)	共催	北毛地域人権啓発 ネットワーク協議会	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る 企画の段階から市民参加で検討 第2次計画の推進
14	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル 運動協議会外51団体	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施

No. 10 男女共同参画推進事業(セミナー開催)



「企画実行委員会」



「講演会受付」



「講演会」



「連続講座」

No. 14 有価物集団回収事業



「あおぞら作業所資源回収作業」



「薄根中学校親子リサイクル活動」

4 平成25年度 沼田市協働事業一覧

25年度紹介事業(2件)

	担当課	事業名	手法別	協働のパートナー	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
						担当課	パートナー
1	防災対策課	防火・防災事業	補助・助成	八職工防火協力会	歳末警戒・出初式・災害時の消防機関への協力	特記事項はなし	特記事項はなし
2	企画課	沼田市国際交流協会事業	補助・助成	沼田市国際交流協会	国際都市交流及び親善に関すること 国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	本事業では、市内に在住する450人を超える外国人が市民とともに楽しく暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各種事業を実施した。実施事業での外国人参加者の増加やボランティアスタッフの確保などに努めているが、一層の働きかけが必要である。 (改善点など)沼田市国際交流協会との緊密な連携による事業実施を図るとともに、交流機会の増大につながるよう各種事業への外国人住民の参加拡大を目指し雇用企業等への積極的な働きかけを行った。	沼田市国際交流協会は、市内に在住する450人を超える外国人が市民とともに楽しく暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各種事業を実施した。各種事業の実施や国際交流の啓発・普及のさらなる推進のため、スタッフとなる会員増加による裾野拡大が必要である。 (改善点など)行政との情報共有を図り、緊密な連携のもと事業を実施した。また、実施事業の充実を図ることにより会員、ボランティアスタッフの獲得に努めた。
3	企画課	準市民交流事業	実行委員会・協議会	沼田市準市民交流会実行委員会	市民参加の事業運営を図るため、各種団体の代表者で構成する実行委員会を設置、交流会を開催	事業開始から13年が経過し事業目的は理解されている。交流会参加者は実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの参加者には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果は上がっている。しかし、既存の準市民登録者が高齢化し新規登録者も伸びていないことから、登録者の増加に向けた取組が課題となっている。 (改善点など)交流会参加者へのアンケートや実行委員からの意見・情報をもとに、バスハイクのコース選定やセレモニー内容を工夫し、参加者増を図った。	事業開始から13年が経過し事業目的は理解されている。交流会参加者は実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの参加者には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果は上がっている。しかし、既存の準市民登録者が高齢化し新規登録者も伸びていないことから、登録者の増加に向けた取組が課題となっている。 (改善点など)交流会参加者へのアンケートや実行委員からの意見・情報をもとに、バスハイクのコース選定やセレモニー内容を工夫し、参加者増を図った。
4	企画課	沼田市地域大学連携事業	実行委員会・協議会	沼田市地域大学連携事業実行委員会	中山間地域の特性を踏まえた産業及び文化の振興に大学の「知」を生かし、地域の活性化につなげることを目的に特産品開発研究会、情報交換会などを実施	大学の「知」を生かし産業の振興と地域の活性化を図るべく、実行委員会を組織し実効性の高い事業となるよう取組を行っている。大学の「知」をうまく生かせるような実行委員会でのテーマ設定が課題となる。	大学の「知」を生かし産業の振興と地域の活性化を図るべく、実行委員会を組織し、実効性の高い事業となるよう取組を行っている。 大学の「知」をうまく生かせるような実行委員会でのテーマ設定が課題となる。

5	生活課	沼田市地区交通安全会連 合会活動事業	補助・助成	沼田市地区交通 安全会連合会	交通安全運動の推進、普及徹底及 び交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安全 運動等に取り組むことにより、交通安全 への啓発や、交通事故防止に寄与して いる。	各地区交通安全会が連携し、交通安全 運動等に取り組むことにより、交通安全 への啓発や、交通事故防止に寄与して いる。 各地区交通安全会との情報交換を今ま で以上に行っていきたい。
6	生活課	タフティクラブ活動事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と母親の交通安全教育や研修 の実施	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の 保育園や幼稚園のみならず、市外での 交通安全教室を実施する等、子どもたち の交通安全教育に大きく貢献している。	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の 保育園や幼稚園のみならず、市外での 交通安全教室を実施する等、子どもたち の交通安全教育に大きく貢献している。 会員数が少なく、会員の高齢化が、今 後、懸念される。
7	生活課	沼田市くらしの会活動事業	補助・助成	沼田市くらしの会	3R運動や各種講習会開催など、賢 い消費者を目指す。	有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテ ンの取組等を行い、消費生活のみなら ず、広く環境対策等にも取り組んでいる。	有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテ ンの取組等を行い、消費生活のみなら ず、広く環境対策等にも取り組んでいる。 各種女性団体は、それぞれ特色のある 活動を行っているので、連合(連絡協議 会)のような組織を作るのは無理かもし れないが、事業の目的は1つなので協力 しあって横の連絡は取れないものかとい つも感じている。循環型社会の構築を目 指して活動に取り組んでいるくらしの会も 高齢化で先細りの感が強いので若い人 の入会を希望している。
						(改善点など)多くの会員に参加してもら えるよう、引き続き、日頃から活動以外で も集まる機会を作り、意見交換をしたり、 活動に参加しやすい雰囲気を作るよう にしている。	
8	生活課	市民協働によるまちづくり事 業	補助・助成	市民活動団体、 地域コミュニテ ィ代表者など (上之町区)	地域の活性化や問題解決に向けた 活動への助成 事業審査は市民が行う。	事業が年度当初から行えるように、前年 度に事業募集を行い、審査を募集締切 後すぐに行った。継続事業について、早 期実施が開始できた。	中心市街地に居住する人が少なくなり、 高齢化も進み活性化が必要と考えてい るが、これらを全て行政にお任せでなく、 市民協働で自分にできることは自分たち も率先して行動に出ることが必要であり、 また、自分たちで作り上げていく事業は「 魂」が宿ったものとなる気がする。事業内 容からすると補助金額が少なく、PR活動 することが難しいと感じたが、無料の民 間広報を活用させていただいたり工夫を して事業を精一杯活動できたと思う。

						(改善点など)前年度中にチラシを全戸回覧し、早期の周知に努め、ホームページでの案内には手続きの手順をわかりやすく説明したパンフレットと申請書及びその後の手続きに必要な様式一式を入れた。	(改善点など)町外の事業参加者の募集により、参加人数の増加が見込めたこと、また新たな国の補助事業により、平成26年度も継続して事業を推進することができており、芽生えた芽を少し伸ばすことができた。
9	生活課	市民活動センター管理運営事業	企画立案・計画策定への参画	市民活動センター運営委員会	市民活動センターの円滑な運営について検討	市民活動センターの事業計画などの意見を聞き、事業実施に反映することができた。活動団体の中心になって活躍している委員が、会議に全員出席することは難しかった。 (改善点など)意見を反映して、市民活動センターの運営に当たった。	特記事項はなし
10	生活課	男女共同参画推進事業(セミナー開催)	共催	北毛地域人権啓発ネットワーク協議会、大学研究員、一般市民等(北毛地域人権啓発ネットワーク協議会)	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討 第2次計画の推進	パートナーが講演会の参集をして成果があったが、まだまだ参加者が少ないので、更に工夫が必要である。 (改善点など)昨年に引き続き、セミナー企画実行委員に講座の講師をしてもらい地元参加者の増加を図った。	年代性別を超えてつながりあえる新しい子育てをテーマに実施 毎年セミナー参加者から企画実行委員を募り、一昨年、昨年と徐々に新しいメンバーが増えているので大変良いと思う。企画実行委員による講座を実施し、計画だけでなく実施に携わることもできて、協働の意識が強くなった。 (改善点など)北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会関係者だけでなくセミナー参加者等の市民にも参加いただき、いろいろな意見を聞いて検討することができた。
11	環境課	環境啓発事業(環境フォーラムぬまた等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発事業(環境フォーラムぬまたの開催等)	今回から、古着・古布の回収を実施した。予想したよりも多く回収することができた。午前と午後の入場者数に差が生じているので、改善の方法を検討したい。毎年行っているが、入場者が少しでも増えるような工夫を考えたい。牛乳パックとトイレトペーパーの交換は、概ね午前中で予定量になってしまうことから、交換できるトイレトペーパーの数を少なくしてなるべく多くの市民の方に対応できるよう検討する。 (改善点など)牛乳パックとトイレトペーパー交換の受付と交換場所を分離し、会場内に導き入れる導線を確保したが、効果的だったと思う。	子どもから大人まで楽しめるエコサイエンスショーを企画し、環境問題についてわかりやすく楽しく学んでいただくことができた。 (改善点など)堅い講演よりも、親子や世代間を超えたテーマ・内容とした。

12	環境課	環境啓発事業(ブナ幼木移植)	事業協力・協定	ぬまた環境ネット(利根沼田自然を愛する会)	玉原高原の再生のためケヤマハンノキ林にブナ幼木を移植	市の環境基本計画でも自然環境の保全を掲げており、今後も同会との連携を強化する必要がある。今回の環境啓発活動以外にも協働で進められる取組を考える。例年、市民の参加が少ないことから「ホットメールぬまた」の活用、ほかの環境啓発事業への過去の参加者などに通知を出すなど新たな周知方法の検討が必要である。	市民参加は、まだ不十分であったが、徐々に輪は広がってきた。作業後の経年結果等の記録をするようにしたので、その結果の公表等でさらに啓発効果が期待できる。
13	環境課	春・秋の市内一斉清掃	共催	沼田市環境保健協議会	道路愛護運動と同時に道路、河川、公園等の清掃作業を実施する。	一斉清掃・道路愛護運動を実施した結果、ポイ捨てごみを中心に、タイヤなど不法投棄された廃棄物の清掃も同時に実施され、周辺環境の美化が図られた。また、多くの市民の参加が得られ、住民の環境美化に対する意識の向上が図られた。今後も、より多くの市民に参加していただけるよう沼田市環境保健協議会と協力しながら働きかけていきたい。 (改善点など) 昨年同様、多くの市民に参加いただいた。	いずれの町(支部)も熱心に一斉清掃・道路愛護に取り組んでいただいたと思う。今後もより多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。
14	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動協議会外51団体(あおぞら作業所)	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	25年度の集団回収事業登録団体は52団体、延べ293回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が743t回収された。昨年と同様、より多くの団体が参加してもらえるよう、周知していきたい。 (改善点など)登録団体数及び実施回数は昨年とほぼ同様の結果であったが回収量が減少した。引き続き登録団体加入への周知と実施回数、回収量増加への周知を図りたい。	地域住民および関係者の方々に協力していただき、奨励金を運営費に充てることのできた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。 (改善点など)回収量を増加できるよう、地域の方々へ、より一層周知を行ってきたい。
15	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリエーション等の実施	事業の中心となる母子会会員の減少により、事業運営に関わる人材の確保が難しくなっている。 (改善点など)若年母子家庭の参加を促すため、母子会会員が声かけを行った。継続して事業に参加する者が増え、企画に対して気軽に意見を言える雰囲気が出てきた。	企画の中心となる母子会会員の減少が進んでいるが、参加者に喜んでもらえているので続けていきたい。 (改善点など)より多くの人に参加してもらうため、該当する家庭へ呼びかけを行った。また、参加者からの意見を事業内容に反映することができた。

16	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	<p>子育て支援団体等のネットワーク構築により子育て家庭のニーズ把握が可能となり、ニーズの高い地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設することができた。(地域子育て支援拠点事業＝市委託事業。ネットワーク推進協議会の参加団体である「NPO法人利根沼田地域ボランティアセンター」が受託)</p> <p>(改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携が取れるようになっている。</p>	<p>沼田市子育て支援ネットワーク事業を受けて、平成25年度から沼田市より地域子育て支援拠点事業を委託され沼田市保健福祉センター3階の「子ども広場」を開設。常時スタッフがいられるため、利用も相談も格段に増え、子育て支援により大きな役割を果たせるようになったと思う。沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会が事業を主導しているの、2、3ヶ月に一度会議を持ち、情報交換を行っている。スタッフが連携を取りながら、記録も丁寧に残し、順調に事業が進んでいる。長期休み等、利用者が多い時には大ホールが借りられるよう行政の側でも対策を考えていただいている。</p> <p>(改善点など)定期的にネットワークの会議を実施しながら、担当係とは密接に連絡を取り合い、連携をより密にすることができた。子ども広場を利用している気になる親子等について、子ども課と家庭児童相談室と連絡を取り合い、情報交換をしながら見守っている。</p>
17	高齢福祉課	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため2泊3日の県外旅行を実施	<p>老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行先等を検討し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布するなどにより、多くの高齢者に参加を促している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間たちとともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たしている状況である。</p> <p>(改善点など)高齢者の安全性や利便性を第一に考え、次回も継続して参加していただけるようにあらゆる視点から配慮していく姿勢を持つという意識を改善した。</p>	<p>老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行を企画し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布することから、たくさん的高齢者の方が参加している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間たちとともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たしている状況である。今後はもう少し老人クラブ会員の参加者を増やしていくことを考えたい。</p> <p>(改善点など)企画会社選定に当たっては、旅行会社やバス会社に対する安全性・信頼性などを重要視していくことを改善した。</p>

18	高齢福祉課	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ 連合会	単位老人クラブの自主活動の促進と健全育成を図るため、1年間の活動費の助成として、補助金を交付	<p>沼田市老人クラブ連合会は、創立50周年を迎え、50周年式典や記念誌を発行した。式典は、老神温泉において、来賓を招き、功労者(団体)表彰や記念講演など盛大に開催された。また、記念誌は各単位クラブ会長に寄稿してもらい約950部発行した。節目の年としての事業として大きな成果があった。今後の課題としては、クラブ数、会員数共に減少しており歯止めをかけていくことである。</p> <p>(改善点など)事業計画における基本方針でクラブ数、会員数の減少に対して一丸となって取り組むことを理事会、総会で再確認した。各単位クラブ会長が事務書類提出等に負担にならないよう心掛けた。</p>	<p>沼田市老人クラブ連合会は創立50周年を迎え、50周年式典や記念誌を発行した。式典は、老神温泉において、来賓を招き、功労者(団体)表彰や記念講演など盛大に開催された。また、記念誌は各単位クラブ会長に寄稿してもらい約950部発行した。節目の年としての事業として大きな成果があった。今後の課題としては、クラブ数、会員数共に減少しており歯止めをかけていくことである。</p> <p>(改善点など)事業計画における基本方針で、クラブ数、会員数の減少に対して一丸となって取り組むことを理事会、総会で再確認した。</p>
19	高齢福祉課	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいきいきサロンほか (老人クラブ)	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間づくりを行う。	<p>老人クラブは、地域高齢者の中核的な組織であることから、事業推進の機関となっているが、近年老人クラブ加入者の減少、老人クラブ自体が解散している地区もあり、組織率の向上が課題となっている。また、地域での住民組織(区長、民生委員、保健推進員など)と連携を深めることにより、地域に密着した活動が期待できる。</p> <p>(改善点など)新規筋トレ団体が5団体増え、地域での呼びかけや口コミで参加者が増えてきているので、今後も継続して支援していきたい。</p>	<p>老人クラブ会員が事業推進の中心となっているが、より多くの参加が望まれる。老人クラブ員の増強のため加入率も高めたい。他の関係団体の協力も求めたい。</p> <p>(改善点など)より多くの人に参加してもらうために、会員同士の誘い合い、仲間意識が高まり、より地域に密着した活動ができる。</p>

20	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進委員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	地区健康教室、健康相談については参加者が固定しているため、回覧等による周知を行っているが、身近な保健推進員の声かけが参加者を増やすことにつながっているため声かけを継続していく。平成23年度より地区ウォーキング教室を開催している。推進員と事務局でコースを下見して設定している。参加型健康教室であり好評である。男性の参加も得られている。25年度は今までのコースをまとめたウォーキングマップを作成したので、今後住民に広めて活用していきたい。地区により、教室開催等のばらつきがあるため、なるべく多くの地区で開催できるように区とも連携をとり開催していきたい。事務局は、保健推進員が地区役員と連絡を取りやすいよう、相談に応じたり情報提供している。保健推進員会理事会(年4回)で、計画や報告など情報交換を行い、地区の問題点を話し合っ計画を進めていくことが必要である。 (改善点など)健康教室、地区ウォーキング教室を開催していない地区に情報提供し、開催に向けて情報交換を行った。	地区健康教室については、保健推進員が、市事務局と地区役員との連絡調整を図り、多くの住民の方に参加してもらうよう働きかけている。また、地区(地域)の行事や既存組織を知り、協力して開催できるよう計画する。健康講座や講演会、講習会などにできるだけ参加し、健康講座等で教わったことを住民に広めていく。また、地域で健康教室を開催する場合の参考にする。平成23年度より地区ウォーキング教室を開催している。25年度はウォーキングマップを作成したので、今後は地域住民に活用してもらえよう広めていく。 (改善点など)「3・30運動」を広めていく一環として地区ウォーキング教室を継続して開催できた。
21	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会(利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	沼田市、利根沼田農業協同組合、沼田市農業委員会が共催となり、多くの農業関係者の協力を得て開催していることから、農業関係者間の交流を図るとともに、安心安全な農産物の提供を通して、来場される消費者との交流も図られている。事業費の節減に努めるほか、提供品の有料化、出店料等についての検討が必要である。 (改善点など)経費節減の検討は引き続き行う必要がある。	農家と消費者の交流が図られ、農家の育てた安心・安全な農作物を直接消費者に販売し、地産・地消運動の実践ができ、農家への理解と信頼を深めることができた。
22	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動費補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も269名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も269名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。

23	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助	各種イベントを通じて、地場産農産物を利用した料理や郷土料理などを試作・発表するとともに、食育についても率先して事業計画を練り、都市住民、地域住民、子どもたちの農産物の食への関心が高まり効果を上げている。	各種イベントに参加することにより、世代間の交流や多くの参加者とふれあうことができた。
24	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか4地区地域農政推進委員会(沼田地区)	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 (改善点など)地域の特色を生かした、新たな取組を始めた。	今後も行政と一体となり、情報交換等により情報を共有しながら事業に取り組む必要がある。
25	農林課	森林づくりボランティア推進事業	事業協力・協定	ボランティア登録者	ボランティア登録者による森林整備	近年は、環境問題への関心の高まりとともに、ボランティア活動を行う機会も増えてきている。そのような状況下で有意義な森林整備ができた。今後は、ボランティアの方が参加しやすい方法や作業中の怪我に備えた保険加入など、関心のある方が安心して参加できる体制の整備が必要となる。	今回は参加できたが、今後も無理のないように参加したい。
26	農林課	みどりの小径整備事業	事業協力・協定	地元住民(高橋場町商工会)	地元主体の遊歩道の維持管理	地元要望に基づき整備し、地元において維持管理することで事業を実施してきたが、地域ごとの意識の違い等により、現在の維持管理においては違いが出ている。	特記事項はなし
27	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し、各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	平成25年度の入込数は、25万人であった。	平成25年度の入込数は、25万人であった。
28	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
29	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
30	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会・利根沼田卓球協会	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
31	産業振興課	新規学卒就職者研修会	共催	沼田地区労働教育委員会	新規就職者を対象に社会人の自覚を促し、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
32	産業振興課	利根沼田勤労者美術展	共催	沼田地区労働教育委員会	勤労者の相互理解、勤労意欲の向上等のために美術展を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし

33	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子どもたちに木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
34	産業振興課	ニュー木工工作広場	補助・助成	利根沼田建築相互組合	地元産木材のPR及び住民交流等のために木工工作広場を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
35	観光交流課	交流居住促進事業	実行委員会・協議会	沼田市交流居住促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希望者等受け入れの環境整備等	各交流都市で開催される各種イベントにおける出展については、毎年継続して出展することにより行政レベルでの交流はもちろん、市民レベルでの沼田市の認知度は確実に向上しており、市内で開催する田舎体験ツアーなどの参加者増や観光客などの交流人口増にも一定の効果が上げられている。しかし、準市民を主な対象者とした沼田市物産販売事業「沼田の玉手箱」については、利用者の減少により、費用面において協議会の持ち出し金額(赤字)が経常化しており、事業の役割と効果を根本的に見直すため、平成25年度下半期の実施を見送り今後の事業実施の可否及び協議会としての関わり方を26年度においても引き続き検討している。 (改善点など)事業内容の一部見直し... 沼田市物産販売事業「沼田の玉手箱」 (継続検討)	各交流都市との交流事業については、回数、成果とも概ね目標を達成していると思われるが、移住や二地域居住などこの協議会の名称にもなっている事業の具体的進展が多少遅いように思われる。今後は、本協議会の両輪ともいえる移住事業と交流事業を有機的に機能させ、当初からの目的達成に近づけていくべきである。 また、事業が成熟したものとなるよう各委員が協議できる機会をより多く持つことも今後改善していくべきと思われる。
36	観光交流課	沼田市産業展示即売会	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施	産業展示会、揚げ上げフェスティバル、大商業祭を合同開催することにより、多くの集客をすることができた。イベント内容の見直しや、ボランティアスタッフにより一部の会場運営を行うなど、市民と協働して行う幅を広げることができた。来場者の増加は、そのまま駐車場の不足という事態と直結しているため、今後どのように解決していくかは大きな課題である。 (改善点など)イベント内容・福引の方法(会場内で使用できる金券も商品の中も含めた)・ボランティアによる会場運営(沼人会、利根郡信用金庫等)	平成24年度より開催場所を沼田公園野球グラウンドに移したことにより、来場者も飛躍的に増加し、出展者数も前年を上回る結果となった。 イベントでは交流都市である太田市より2団体に参加していただき、ステージを盛り上げていただいた。だんべえ踊りのステージでは沼田市の団体との交流も行えたことは大きな成果である。
37	観光交流課	観光ボランティアガイド	事業協力・協定	沼田市観光協会	観光ボランティアガイドの募集、養成講座の開催など	特記事項はなし	観光ガイドの依頼が増加しているが、会員の高齢化が進んでいる中、会員の増員が急務である。

38	観光交流課	沼田市観光協会事業	補助・助成	沼田市観光協会	観光農園、飲食店の紹介やキャンペーンの実施	沼田市観光協会は、本市における観光情報発信の中核的な組織であり、観光客の誘客に貢献している。引き続き行政や地域産業と情報共有を行い、観光客に最新情報を提供していくことが重要である。 (改善点など)年度当初、観光協会事務局は商工会議所内で行っていたが、観光交流課へ移管された。	沼田市近隣だけでなく、群馬県内の観光情報ネットワークを形成し、群馬県に訪れる観光客の利便を図り、群馬県における周遊的な観光形態を確立し、観光客の増加を図る。 (改善点など)年度当初、観光協会事務局は商工会議所内で行っていたが、観光交流課へ移管され、年度途中から観光インフォメーションについては観光協会からFM-OZEへの委託契約を行っている
39	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	戸神町	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
40	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	ぬまた花の会ファミリー	緑化推進事業に対する補助金の交付	特記事項はなし	特記事項はなし
41	街なか対策課	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、地域のよりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	中心市街地活性化の片輪を担うハード事業(土地区画整理事業)の建物移転等は徐々に進捗しているが、それ以外の部分の施策について、さらに協働パートナーと協議を進めていきたい。ほか、協働パートナー以外の関係者もさらに取り込み市民全体の課題として取り組みたい。 (改善点など)中心市街地を会場とした都市緑化事業時に地元高校生とパートナーとの連携により地域住民の参加で植栽作業することができた。	区画整理事業をベースにしているため、権利調整に時間がかかる。先行きが不透明のため会員に脱力感を感じられている方が多くなっていたが、2街区の一部を仮換地指定できたことや、予算の増額で26年度は、2街区の残り4街区を仮換地指定する予定となり、仮換地指定が50%を超えることになる。まちづくりは永遠に続けるので、活性化は今行えること、実験してみることで、区画整理後の目標とを合わせて行う難しさがある。 (改善点など)まちづくりを進める上でハードとソフトは一体であり、ハードの区画整理の推進とソフト事業のできるどころから進めながら実績を上げていく。一部専門家を国より派遣していただき、ハード・ソフトの両面を指導していただき個人の単なる再建でなく、街が必要としているものを今後まちづくり事業として導入して、市民から支持されるまちにしたい。
42	学校教育課	沼田市スポーツエキスパート活用事業	事業協力・協定	中学校運動部活動の外部指導者	運動部活動の指導充実と地域社会の連携を促進するため、外部指導者を委嘱し、実技指導及び助言を頂く。	本事業は、地域の教育力を活用するという意味において今後も市民の専門的な知識能力を活用することにより、学校側で必要としている人材の確保を図り、事業実施の拡大に努めていく必要があると思う。地域に存在する指導者の発掘が重要である。 (改善点など)地域性を考慮した人選を行うようにした。(学校区内の人材活用)	年間の回数については、各個人の仕事の都合により変更しなければならない面も出てくる。学校や生徒のために、計画にある回数の上限で協力していきたい。

43	学校教育課	学校支援センター運営維持事業	事業協力・協定	各小中学校PTA役員、各種社会教育団体	地域や学校実情に合わせ多様な学習を行うための外部講師や安全確保、教育環境の整備など、ボランティアの協力を得て実施する。	学校支援センターの機能を充実させるためのリーダーとなるコーディネーターの発掘と育成が必要となる。学校地域支援本部事業が、国・県・市町村で1/3での補助事業に変更となったため、今後事業費の縮小が予想されるが、補助事業終了後においても、地域ボランティアと協働して事業実施が行えるような体制整備が必要となる。平成24年度より学校地域支援本部事業については、社会教育課を担当課として事業実施を行うこととした。 (改善点など)支援内容として、学校における授業(書写・家庭科等)の支援が増え、学校におけるボランティアの活躍の場が増した。	現在のところ、読み聞かせやベルマーク整理、また授業協力などで円滑な協力体制ができています。今後無理なく支援の範囲を広げていければと考えています。ボランティアの役割、学校の役割をお互いに理解した協力体制を継続していきたい。
44	社会教育課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
45	社会教育課	家庭健全化運動推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	情報交換会及び沼田地区上毛かるた大会の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
46	社会教育課	市民体力づくり歩け歩け運動大会	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	市民の体力向上と青少年の健全育成のための歩け歩け運動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
47	社会教育課	子ども会ボランティア活動開催委託	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会単位での清掃活動を中心としたボランティア活動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
48	社会教育課	青少年指導者会研修事業委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	指導者会会員の資質及び技術の向上を図るための研修会の実施	この事業で行われた研修内容は、ぬまたネイチャーキッズ等の事業に生かされており、青少年の健全育成につながっている。なお、今後については、ジュニアリーダー部などからの後継者の育成を更に推進する必要がある。	この事業で行われた研修内容は、ぬまたネイチャーキッズ等の事業に生かされており、青少年の健全育成につながっている。なお、今後については、ジュニアリーダー部などからの後継者の育成を更に推進する必要がある。
49	社会教育課	青少年育成推進員等研修会及び情報交換会委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年育成大会及び研修会	特記事項はなし	特記事項はなし
50	社会教育課	子ども会行事開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活動の活性化と親睦を図る。	沼田かるたについては、各単位子ども会により取組の姿勢が大きく異なり、競技人口が減少傾向にあるため、何らかの改善が必要になっている。	沼田かるたについては、各単位子ども会により取組の姿勢が大きく異なり、競技人口が減少傾向にあるため、何らかの改善が必要になっている。
51	社会教育課	初級指導者養成講座	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年地域活動リーダーの養成講座の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
52	社会教育課	沼田市成人式式典開催委託事業	委託	沼田市成人式実行委員会	成人を祝う式典の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
53	社会教育課	青少年自然体験活動推進事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を養うための野外体験活動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし

54	社会教育課	茶会開催事業	事業協力・協定	沼田茶道会	旧土岐邸洋館において桜の時期の休日に「お花見添え釜」を開催	開催日は前日天候に恵まれ、また桜の時期に重なっていることもあり、来場者が多く大盛況。沼田公園のイベントの日程と合わせることで多くの来場者を見込める。 (改善点など)桜の時期に茶会を開催していることを知っている人が増え、遠方から来てくれる人もいた。	イベントや桜の時期が重なったこともあり、例年になくお客さんが来てくれ大盛況でした。トラブルもなく、無事終わることができほっとしています。市としても、もっと宣伝してもらい来場者が増えることを願っています。今後も長く続いていけばいいなと思っております。 (改善点)宗派によって様々な趣向を凝らした茶会がスムーズに開催できました。沼田公園は桜だけではなく、時期によってたくさんの美しい花が咲いているので、そのすばらしさをたくさんの人に知ってもらいたいという思いもあり活動しております。
55	社会教育課	著者を囲む会	共催	沼田市読書グループ連絡協議会	優れた文学作品をテキストとして、その著者と直接語り合う会の開催	特記事項はなし (改善点など)日程を精査した。	参加者の増加を図りたい。 (改善点など)日程を精査した。
56	社会教育課	読書研修会	事業協力・協定	沼田市読書グループ連絡協議会	公開による読書会の開催	特記事項はなし (改善点など)日程、テキストをより精査した。	昭和54年から30年に及ぶ読書研修会は県下においても例を見ない。まして中心となる人物が箕輪明先生(当時、沼女教員)を囲んで沼田市読書グループが全員で一冊の本を選定して読み語ることは自分の意見を持つことで確実にひとつの人格を形成して市民生活に目覚めて発言も多くなることになる。自らがお互いに積極的になるべく一つの本を読むことは大切な要素でこれが子どもたちに与える影響は大きいと思うので、これからの長く続けていきたい事業ではないか。 (改善点など)日程、テキストをより精査した。
57	社会教育課	おはなしポケット	事業協力・協定	沼田読み聞かせの会	子どもを対象にした読み聞かせ	平成25年度は、18回実施し383名の親子が参加した。読み聞かせとともに参加者の絵本選びを手伝うなど、子供の読書活動の推進及び図書館利用の促進が図られている。	読み聞かせとともに参加者の絵本選びのお手伝いも行っており、子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進が図られていると思います。

58	社会教育課	ブックスタート	事業協力・協定	ブックスタートボランティア	赤ちゃんと保護者のふれあいを絵本を介して応援する。	平成18年からスタートしたブックスタートは8年を経過し、「事業を知っています。とてもいい事業ですよ。」とってくれるお母さんが増えてきた。また、ブックスタート・パックに入っている資料が子育てにとっても役に立ったとの声を聞いた。ブックスタートを通して、赤ちゃんの幸せを願う地域の人たちが、出会い、親しくなることで、より良い子育ての環境づくりを考える関係も生まれている。 (改善点など)沼田子育てネット等のチラシをブックスタート・パックと一緒にいれ案内するようになったところ、子育てに関するイベント情報がよくわかると大変好評いただいている。	赤ちゃんに会えるのがとてもうれしく、絵本を読んであげたときの赤ちゃんのかわいい反応をお母さんと一緒に楽しく体験しています。ブックスタートを通して、地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知ってもらったり、赤ちゃんが参加できる様々な活動に出会うことで、保護者が安心して子育てができるきっかけになると良いと思います。
59	社会教育課	市民ハイキング	事業協力・協定	沼田山岳会	市民ハイキングの実施により市民の体力向上と参加者相互の親睦を深める。	毎年、盛大に事業を実施しているが、市民ニーズを捉えたコース選定の難しさを感じている。	毎年、盛大に事業を実施しているが、市民ニーズを捉えたコース選定の難しさを感じている。
60	社会教育課	公民館まつり	共催	公民館利用団体、教室受講生	公民館まつりの開催	公民館教室受講生や利用団体等から多分野における力作が出品され、日頃の公民館活動の成果が発表されている。	公民館教室受講生や利用団体等から多分野における力作が出品され、日頃の公民館の成果が発表されている。
61	社会教育課	利南公民館まつり	共催	利南魁の会、利南地区内若妻会、利南地区老人クラブ連合会、	作品の出展、参加を通して地区民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与する。	地区内団体や公民館教養教室及び公民館を利用している自主サークルに作品展示と交流の場を提供している。来館者の拡大により、公民館活動への理解と地区民相互の親睦を図りたい。 (改善点など)平成23年度から沼田市立利南幼稚園及び利南東幼稚園の園児の作品を出してもらっており、幼児・児童を連れた家族連れの出館者が増加している。	開催初日は大雪になり、来館者は前年度に比べて減ったようです。利南公民館まつりは、利南魁の会を中心とする地域女性による湯茶等の接待、バザー及び茶道による接待があり、出品された作品の魅力もさることながら「もてなす心」の出展が特徴であり、地域の和を深める良いまつりとなったと思います。会場の後片付け作業は、参加者全員に協力を求めたらどうか。
62	社会教育課	利南女性学級	実行委員会・協議会	利南魁の会	利南魁の会、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	女性学級は利南魁の会が中心となって、教室の内容を検討し、実施している。そこに一般参加者が受講する形で、教室を開催している。学習の場を通して、参加者の交流や親睦を深め、一般参加者の拡大とともに、会員の拡大につながればと考えている。	各種内容の教室が、話し合いの中で決めていけることは、良いことだと思います。引き続き、地域の交流や連帯感を深める場として、魅力ある教室を開催していただけるようお願いいたします。

						(改善点など)体験学習的な教室のほかに、地元の文化財を学ぶ教室を加える等、女性学級の充実を図った。	
63	社会教育課	利南若妻女性学級	実行委員会・協議会	利南地区内若妻会	若妻会会員、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	受講生の減少が進んでいるなか、多種多様なニーズにあった教室を開催するためにも、役員の意見だけでなく地域住民の意見も広く取り入れ、少しでも興味を持ち参加してくれる人を増やす必要がある。	充実した内容のものが、継続して行われますよう予算等は、昨年程度は確保していただければと思います。より魅力ある教室を開催していただけるようお願いいたします。(働いている人も多く、みなさん忙しいので、参加しやすいものでないと参加人数が減少してしまうと思います。)
						(改善点など)教養教室の充実を図るとともに、受講生のニーズにあった、求められている教室を開催し、参加者の増となった。	
64	社会教育課	池田高齢者教室	実行委員会・協議会	池田地区老人クラブ連合会	運営委員会を組織し、年度当初に年間計画を作成し、池田地区在住の65歳以上の男女を対象に、年間8回の講座を実施	対象者が毎年あまり変わらないため、参加者が参加しやすくなるような講座等をパートナーである「池田老人クラブ連合会運営委員」さんたちと知恵を出し合い考えている。25年4月に運営委員会を開催し、ニーズにあった講座を開けるよう努力している。	参加者が参加しやすくなるような講座等を、パートナーである池田公民館職員と知恵を出し合い考えている。25年4月に運営委員会を開催し、ニーズにあった講座を開けるよう努力している。
65	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根高齢者教室』	実行委員会・協議会	薄根地区老人クラブ連合会	薄根地区在住の高齢者を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの高齢者が受講しやすくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの高齢者が受講しやすくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
66	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根女性学級』	実行委員会・協議会	沼田市薄根婦人会	薄根地区在住の女性を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講しやすくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講しやすくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
67	社会教育課	薄根公民館まつり	共催	薄根地区振興協議会 ほか	公民館まつりの開催	園児から高齢者まで参加しており、一定の成果は得られたと思われる。	園児から高齢者まで参加しており、一定の成果は得られたと思われる。
68	社会教育課	川田高齢者教室	実行委員会・協議会	沼田市老人クラブ連合会川田支部	川田地区在住で概ね60歳以上の人を対象に各種教室を開催	新規に高齢者が参加しやすくなるような配慮をしていきたい。 (改善点など)回覧による新規参加者の募集を行った。	新規に高齢者が参加しやすくなるような配慮をしていきたい。
69	社会教育課	川田地区民展	実行委員会・協議会	川田地区振興協議会、川田地区青少年育成連絡協議会ほか	地区民が制作した作品を一堂に展示し、技術向上と住民相互の親睦を図る。	出品者と来場者が増えるような検討を進めていきたい。	出品者と来場者が増えるような検討を進めていきたい。

70	社会教育課	エコ・プロジェクトinかわだ	共催	川田保育園・川田学童クラブ・利根実業高校・川田簡易郵便局	緑のカーテンづくり	緑のカーテンにより電気代の節約と地球温暖化防止に貢献できた。ゴーヤの栽培(植え付け、収穫、試食)を通じて、世代間の交流を図ることができた。また、複数の施設で実施したことで、本事業の趣旨を地域全体に周知することができた。	緑のカーテンにより電気代の節約と地球温暖化防止に貢献できた。ゴーヤの植え付け作業を通じて、園児と高校生の交流を図ることができた。また、ゴーヤの植え付け、収穫、試食を通じて、園児の食育を行うことができた。
71	社会教育課	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	講座の計画立案、受講生の募集、年9回の講座開催	前年の反省を踏まえ、運営委員会において年間の活動を決定してもらっている。平成25年度も運営委員からの積極的な意見を取り入れ、自主的な計画・活動ができた。各講座も本部役員を中心に運営ができていて、事前の準備は事務局のみで対応している。参加者は多く、また出席率も高いことから事業効果を高めている。	毎年実施していることから、地域に根付いた事業として定着しており、高齢者の学習機会の創出につながっている。また、運営委員会では積極的な意見もあり、今年度も幅広い計画・活動ができた。
72	社会教育課	白沢町文化祭	共催	沼田市文化協会白沢支部	文化祭の開催(計画立案含む。)	協働実施により幅広い年代層の方の交流が図られ、また出品数も多いことから事業効果を高めている。	毎年実施していることから、地域に根付いた事業として定着している。
73	体育課	体カテスト等開催事業	事業協力・協定	沼田市スポーツ推進委員会	新体カテスト、ニュースポーツ体験、講習会等により、健康の維持増進活動の場を提供する。	何年も続けて参加している人にニュースポーツ体験等を楽しんでもらうため、新たな種目を取り入れるなど事業内容を検討する必要がある。 (改善点など)参加者募集のPRに工夫を行ったため、予想以上に多くの来場者を迎え新体カテスト及びニュースポーツ体験をしていただくことができた。	何年も続けて参加している人にニュースポーツ体験等を楽しんでもらうため、新たな種目を取り入れるなど事業内容を検討する必要がある。 (改善点など)参加者募集のPRは市主導で行ったが、予想以上に多くの来場者を迎え新体カテスト及びニュースポーツ体験をしていただくことができた。
74	(白)総務課	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統行事であり、白沢地域の振興を図るとともに住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。	地域に根ざした伝統行事として幅広い世代が参加・来場し、住民相互の交流や地域の振興のために大きな役割を果たしており、今後も継続が必要である。	白沢町において、各地区の夏祭りと同じくして開催する一大行事として幅広く親しまれており、地域の活性化、住民相互の親睦と交流推進のため、今後も継続して開催していきたい。
75	(白)総務課	白沢盆踊り大会	実行委員会・協議会	白沢町盆踊り大会実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親睦と交流の場とする。	地域に根ざした伝統行事として、住民相互の交流や地域の振興のために大きな役割を果たしており、今後も継続が必要であると考えられる。	白沢町における伝統行事であり、また、後継者の育成も重要であることから、今後も継続して開催していきたいと考えている。

76	(白)産業建設課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会	秋の味覚のPR、消費者に感謝の気持ちを含めて特価販売を行う。	秋の行楽シーズンに開催するため毎年大盛況のイベントであるが、あいにくの荒天で例年より客足が悪かったのが悔やまれる。	今回で第10回を数えるイベントのため事前準備に関しては特に問題なく進めることができた。しかし当日の天候に恵まれず雨天での決行となってしまったため、客足・売上共に例年を割る結果となってしまった。それでも悪天候の中訪れてくれたお客様の多くは、両手に持った買物カゴいっぱい野菜や果物を詰め、笑顔で帰路に就かれたようだった。また、去年から始めた野菜の詰め放題イベントも雨の中大勢のお客様に参加いただき、開始2時間程度で用意した野菜が全て終わるなど大変好評だった。
77	(白)産業建設課	白沢高原りんご&ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご&ぶどう祭り実行委員会	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流	事業については、販売・PR・交流それぞれ大盛況で、成功であったと思われる。りんごやぶどうの生育状況を見ながら日程を決定しているため、広告宣伝などを始めるまでに時間がかかりすぎている。年間計画としてイベントカレンダーなどに掲載できれば、早い段階からより多くのお客様を取り込めるとと思われる。	実施日程においては、ほかで開催されるイベントやその年の生産物の作柄など様々な要素が絡んでくるので慎重に判断したい。スタッフ配置や販売物品の確保にも課題が残った。 (改善点など)イベント内容とスタッフ配置を見直し、継続性の高い内容へ変更
78	(利)総務課	都市との交流事業	実行委員会・協議会	利根町少年野球交流事業実行委員会	少年野球及び体験事業による都市住民との交流会を開催	本事業の目的達成のために、実行委員会と協議を重ね、体験事業を積極的に取り入れ事業を実施した。(体験事業として、川遊び、温泉入浴及びブルーベリー狩りを実施)今後も地域の特性を生かした体験事業を取り入れ、積極的に相互理解を深め、都市間の交流を図りたい。	交流事業も長年継続され地域に定着した事業となっている。少子化により子ども供の人数も減少しているが、受け継がれてきた事業を末長く継続していくためにも実行委員会が主体となり、創意工夫をもって事業運営に取り組んでいく必要がある。 (改善点など)交流会の進行や会場・食事準備等、実行委員会が主体となって事業運営できるよう積極的に努めた。
79	(利)産業建設課	吹割の滝開き・無事故安全祈願祭	事業協力・協定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈願する。	吹割の滝観光協会会員の高齢化が進んでいるので、後継者の確保を図る必要がある。 (改善点など)吹割の滝観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性が現れてきた。	特記事項はなし

80	(利)産業建設課	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会(利根町観光協会)	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により地域の活性化と観光振興の一助とする。	各種団体の運営協力者のほとんどが確定している。事業運営に必要な人員確保についてはそれぞれの団体に責任を持っていただいているが、十分たりていないところと不足しているところが見られる。今後も、事業をするため関係団体との連携の強化が必要である。 (改善点など)各団体が協力する準備及び開催時間等の短縮が図られた。	参加される団体が減少傾向にあるため、各地ごとに出し物を出してもらえるような働きかけをしているが、なかなか地区からの提案がなく参加もしていただけないため、利根町全体のイベントだと感じられる内容となるように改善をしていきたい。
81	(利)産業建設課	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会(利根町観光協会)	奥利根高原そばをもとに滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	一般市民・観光客との交流が図られ、農業・商業・観光の連携により、イベントの開催運営に関わった展開を促進した地域での活性化が必要である。 (改善点など)実行委員会の自主性・自立性が現れてきた。	平成26年度は第10回の節目になるので、内容を変えた取り組みを提案している。今後、企画部会の中で検討し決定する。 (改善点など)ここ最近では、ポスター・チラシの原稿作成を実行委員自ら行うようになった。
82	(利)産業建設課	老神温泉赤城神社節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	老神温泉観光協会のさらなる組織力の強化。節分祭当日夜のミニ花火大会により観光入り込み客の増加が見込める。 (改善点など)観光協会が自主的に事業を進めている。	